

青野沢川河川災害復旧工事（その1）

2017年6月 工事日より

工期：2014年12月17日 ~ 2018年3月23日

工事進捗状況

工種	進捗率	備考
河川土工	60.1 %	掘削、盛土
護岸工	30.5 %	基礎工、法覆護岸他
排水工	0.0 %	水路、管路、柵他
付属構造物工	46.5 %	階段他
構造物撤去工	68.4 %	無筋コン、鉄筋コン
地盤改良工	64.9 %	地盤改良
樋門・樋管本体内工	42.8 %	樋門・樋管4基
鋼橋上部	49.7 %	鋼単純非合成桁橋他
橋梁下部	98.9 %	橋台2基、場所打ち杭
構造物撤去工	100.0 %	旧橋撤去
仮設工	60.2 %	工事用道路、水替え他

トピックス



土木工事のコスト削減

土木技術者にとって、「良質な土木構造物をいかに安く作るか」は、社会に対する使命であり、これまでに官民を問わず、各種の研究、新技術の開発、現場における工夫などが進められてきました。特に公共事業は国民の税金を使用するために、コスト意識の徹底の観点から、政府はコスト削減の計画を策定し総合的な取り組みを進めています。

平成20年度に策定された「公共事業コスト構造改善プログラム」（平成20～24年度）は、価格と品質の両面を重視し、公共事業の構想・計画段階から維持管理までを通じて投資に対して最も高いサービスを提供することを基本に、5年間で15%のコスト改善を目標とする計画です。その内容は、単に現場コストの削減だけでなく、施設の長寿命化によるライフサイクルコストの低減、工事における二酸化炭素の排出抑制による地球温暖化対策の効果、工事における道路通行止め日数の短縮による利用者の負担軽減などが含まれる総合的な取り組みとなっています。

出展：土木学会「どぼくのこぼし」

施工状況



全景写真

港橋は、両岸下部工のコンクリート打設が完了しました。今後はコンクリート面に塗装を行います。6月末からは、上部工の架設工事が始まります。堤防工事は、両岸最下流部の工事を行っています。

港橋下部工



ウィング部コンクリート打設（A2）
樋管工④



遮水矢板打設状況

法覆護岸工



ブロック設置状況（上流部）



管渠据付状況

護岸基礎工（C基礎）



山留設置状況



緊張状況

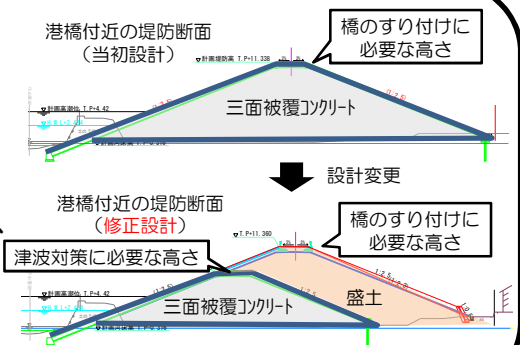
工事担当者から一言



工事担当 西村 直人

港橋付近の堤防高さは、河川断面を確保するため、周囲より約3m高くなります。当初設計では、全て三面被覆コンクリートの堤防でした。しかし、県の指針が変更となりまして、堤防定規断面（津波対策として必要な高さ）以上は三面被覆コンクリートでなくなりました。※経済性の観点からの変更であり、安全性は変わりません。

盛土より小さな堤防を作っているように感じたかもしれませんが、三面被覆構造の設計変更によるものです。



連絡先

事務所 住所：気仙沼市唐桑町出山240-5
電話：0226-31-3201 FAX：0226-31-3510
ホームページ： <https://www.takenaka-doboku.co.jp/aonosawa/index.html>

人と地球の架け橋に

